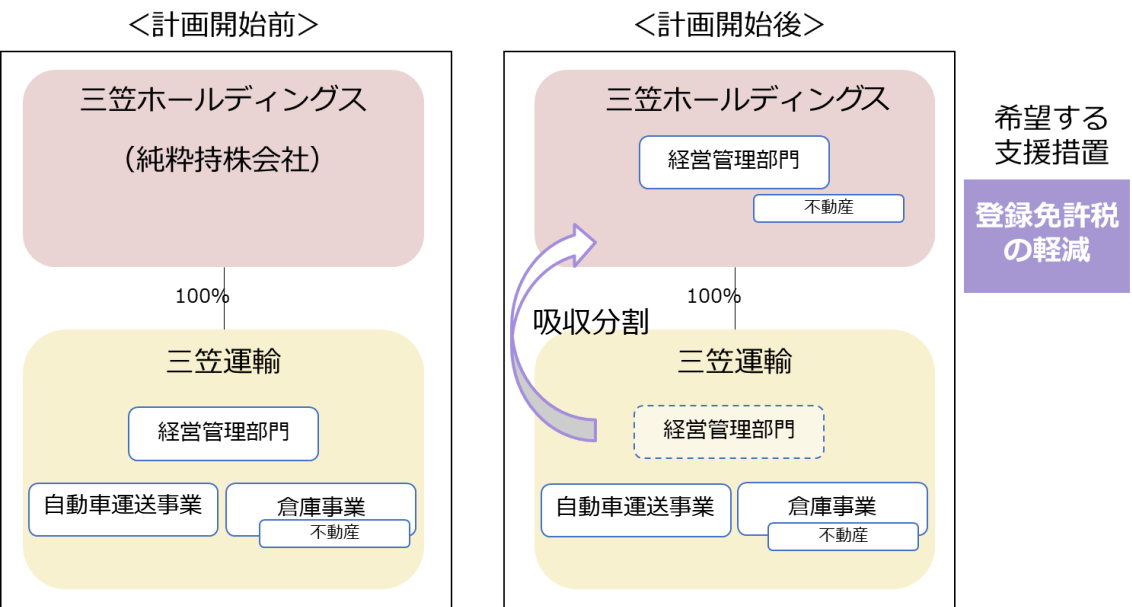


令和7年2月7日

三笠運輸株式会社の「事業再編計画」のポイント

三笠ホールディングス株式会社に経営管理機能を移転し、既存事業と経営管理機能を分離することで、三笠運輸株式会社は本業に注力することが可能となる。また、不動産と借入の一部を三笠ホールディングス株式会社に移転し、三笠ホールディングス株式会社に資金調達機能を持たせることで、両社で柔軟な資金調達が可能となる。

これにより、経営の効率化とガバナンス強化を目指す。



【生産性の向上】

・2027年3月期には2024年3月期の固定資産回転率の値より18.03%改善させることを目標とする。

【財務の健全性】

- ・有利子負債/キャッシュフロー 6.1倍
- ・経常収支比率 117.2%

【前向きな取組み】

・基準年度の売上高販売管理比率6.05%から5.77%低減させることを目標とする。

【計画の実施期間】

・2025年3月16日～2028年3月15日